

企画展

近代 の 長浜

～明治から現代の私たちへ～



明治時代 長浜停車場

2階展示室



そして、現代の長浜へ

令和5年(2023)

令和6年(2024)

会期 11.18(土)～1.14(日)

※会期中、一部資料の展示替えを行います。

前期：11月18日(土)～12月17日(日)

後期：12月18日(月)～1月14日(日)

休館日：令和5年12月27日(水)～令和6年1月2日(火)

長浜市長浜城歴史博物館

Nagahama Castle History Museum

〒526-0065 滋賀県長浜市公園町10番10号 ☎0749-63-4611

左上/杉本鳩荘「信楽焼水指」(当館蔵)
左下/大野商店引札<部分>(当館蔵)

右下/
昭和58年(1983)4月5日
長浜城歴史博物館開館セレモニーの様子

令和5年(2023)

令和6年(2024)

会期

11.18(土)~1.14(日)

※会期中、一部資料の展示替えを行います。

前期: 11月18日(土)~12月17日(日)

後期: 12月18日(月)~1月14日(日)

2階展示室

休館日: 令和5年12月27日(水)~令和6年1月2日(火)

近代 の 長浜

企画展

~明治から現代の私たち~

展示説明会

令和5年(2023) **11.26(日)**

時間: 午前10時から

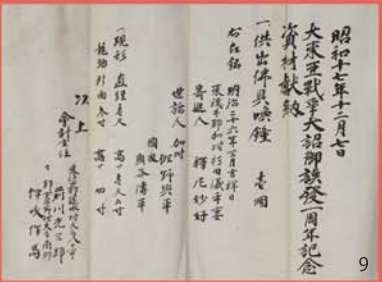
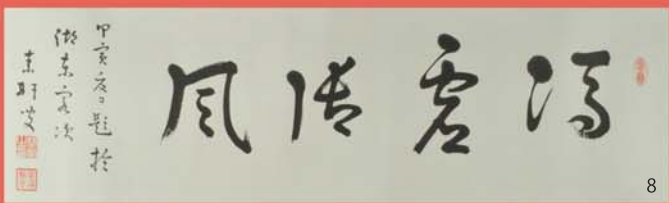
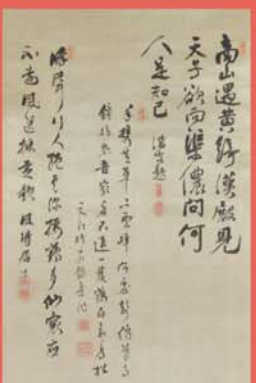
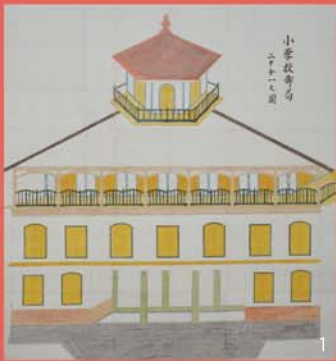
会場: 2階展示室

※聴講には入館料が必要です。

明治時代、「近江国」が「滋賀県」に改称され、同時に人々の生活も一変します。江戸時代の琵琶湖の舟運を担っていた丸子船は蒸気船へと姿を変え、湖上交通の様相も大きく変貌しました。また、明治15年(1882)には敦賀~長浜間で、その翌年には長浜~関ヶ原間の鉄道が開通し、長浜は北陸・東海方面と京阪神を結ぶ要所として、全国の交通網の重要地点となりました。そのほかにも、県内で初めての小学校や国立銀行の設立といった、現代の私たちの生活にも受け継がれる施設や制度が整えられました。

さらに、昭和58年(1983)江戸時代に廃城となった長浜城が再興されるなど、明治・大正・昭和時代の長浜では、目まぐるしい変化が起こりました。

本展では、激動の幕末から明治、そして現代に至る長浜を舞台に、当時の様子や人々の暮らしぶりを、博物館の収蔵品を中心に紹介します。



長浜市長浜城歴史博物館

Nagahama Castle History Museum

〒526-0065 滋賀県長浜市公園町10番10号 ☎0749-63-4611

■開館時間…午前9時~午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

■休館日…令和5年12月27日(水)~令和6年1月2日(火)

■入館料…大人410円/小中学生200円

■交通機関…JR琵琶湖線(北陸本線) 長浜駅から徒歩7分
高速道路北陸自動車道 長浜ICから車で15分

※観覧(聴講)にあたり、主催者に対応(合理的配慮)を求められることがある場合は、事前にご相談ください。

1.開知学校絵図(当館蔵) 2.開知学校写真 3.丸彦引札(当館蔵) 4.両儀運送店引札(当館蔵)
5.江馬天江等「雲芝図寄合書」(当館蔵) 6.近江国坂田郡長浜地引全図(当館蔵) 7.国友能恭「震災日誌」(個人蔵)
8.柴田源七他「湖上遊覧図」(当館蔵) 9.大東亜戦争喚鐘献納録(長浜別院大通寺蔵)
10.第二十一国立銀行印影[大](当館蔵) 11.国友敬三「謡曲 杜若」<部分>(個人蔵)